|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（１）地震発生時の津波対応** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 地震が発生した場合，すぐに津波を考える。 | 1) | 地震が発生したときは，最初はどこが震源かが分からないので，すぐに津波のことを考えなければならない。 | → | 教・行 | ・[地震　その時](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)　　[10のポイント](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)　(東京消防庁) |
| 2) | 津波から避難する時は，遠くではなく，高いところに避難する。例えば，海の近くにいる場合は，近くの高台や建物等が流される恐れがあるため，高くて頑丈な建物に避難する。 | → | 教・行 |
| 4) | 津波により損傷した建造物等から漏れた油やガスに引火して火災が発生することがある。 | → | 教・行 |
| ② | 海岸で大きな揺れを感じたときや，弱くても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは，津波の襲来を予測して，直ちに海岸から避難する。 | 1) | 津波が地震直後に襲ってくることもあるので，いち早く避難行動をとる。 | → | 教・行 |
| 2) | 1983年日本海中部地震では，地震後に津波が来襲することを知らない人が多く，100人の命が奪われるなど被害が拡大した。 | ○ | 教・行 |
| 3) | 1993年北海道西南沖地震では，地震発生から３分後に奥尻島を襲った津波で198人の命が奪われた。 | ○ | 教・行 |
| ③ | 地震が発生したら，３分以内を目標に津波警報が出されることを知り，テレビやラジオの情報に注意する。 | 1) | 日本では，津波についての情報が地震発生から３分以内を目標に発表されるように取り組まれている。 | ○ | 教・行 |
| 2) | 津波警報，津波注意報が発表された場合は，正しい情報を素早くつかみ，適切な避難行動をとる。 | ○ | 教・行 |
| 3) | 海岸付近に行く際は，携帯ラジオなどを準備し，情報入手手段を確保する。 |  | 教・行 |
| ④ | 津波を見に海岸に近づいてはならない。海岸で見ていると実際の高さよりもかなり低く錯覚し避難が手遅れになり，命を落とすことにつながることを知る。 | 1) | 興味本位で津波を見に行ってはいけない。 | ○ | 教・行 |
| 2) | 海岸で津波を見ていると実際の高さよりもかなり低く錯覚し，避難が手遅れになり，命を落とすことにつながる。 | ○　 | 教・行 |
| 3) | スマトラ島沖地震津波では，津波を海岸で見ているうちに，逃げ遅れた人がたくさんいた。 | ○　 | 教・行 |
| 4) | スマトラ島沖地震津波では，津波警報を海岸付近に知らせる防災システムが整っていなかったため，被害が拡大した。 |  | 教・行 |
| 指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常凡例 |
| **（２）津波に関する知識** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ② | 津波と波浪の違いから，津波のエネルギーの大きさと被害が大きくなることを知る。 | 3) | 津波は，30cmの高さでも被害が生じ，幼児や児童は流されることがある。 | ◎ | 教・行 | ・[津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html)(気象庁) |
| ③ | 津波は非常に速い速度で襲ってくることを知る。 | 1) | 津波は水深が深いほど速く移動する。（水深が5000mでジェット機と同じ時速800ｋｍ/h程度） | → | 教・行 |
| 2) | 津波は海岸に到達すると，速度は陸上の短距離選手と同じくらいの速さ（36ｋｍ/ｈ程度）となり，高さは沖合に比べて数倍になる。 | → | 教・行 |
| 3） | 津波が襲ってきたときに走って逃げることは難しい。 | → | 教・行 |
| ④ | ゆれが小さくても津波は襲ってくることがあることを知る。 | 1) | その場の揺れは小さくても，津波が襲ってくることがある。 | → | 教・行 |
| 2) | 死者行方不明者が２万人を超えた明治三陸地震津波では，揺れが震度２～３くらいであった。 | → | 教・行 |
| 3) | 揺れが小さくて大きな津波を発生させる地震を「津波地震」という。 | ○ | 教・行 |
| ⑤ | 津波は何度も襲ってくることを知る。 | 1) | 津波は何度も襲ってくる。 | → | 教・行 |
| 2) | 第１波が１番大きいとは限らない。第２波，第３波の方が大きいことが多い。 | → | 教・行 |
| 3) | 第１波と第２波が違う方向から襲ってくることもある。 | → | 教・行 |
| 4) | 津波は一般に地震の規模が大きいほど長く続き，大規模な場合は数日続くこともある。 | → | 教・行 |
| 5) | 津波警報や津波注意報が解除されるまで避難等を継続しなければならない。 | → | 教・行 |
| ⑥ | 津波は引き波から始まるとは限らないことを知る。 | 1) | 津波は，引き波から始まる場合と，押し波から始まる場合の二通りの始まり方がある。 | → | 教・行 |
| ⑧ | 津波は川をさかのぼることがあるので，川に近づいてはいけないことを知る。 | 1) | 橋を渡って避難してはいけない。 | → | 教・行 |
| 2) | 川に沿って避難してはいけない。 | → | 教・行 |
| 3) | 2011年東北地方太平洋沖地震では，石巻市の北上川を津波が遡上し，河口から約８km内陸まで河川付近の低地が津波により浸水している。 | → | 教・行 |
| ⑨ | 遠隔地で発生した地震により，津波が襲ってくることを知る。 | 1) | 日本では揺れを感じない外国で発生した大地震により，日本沿岸に大きな津波が押し寄せることがある。 | ○ | 教・行 |
| 2) | チリ地震津波は，遠地地震津波の例である。チリで発生した津波は約20時間かけて日本に到達している。 | ○ | 教・行 |
| ⑩ | 歴史的に東北地方太平洋沿岸は何度も津波に襲われており，多くの人命を失ってきたことを知る。また日本の津波警報態勢は東北地方から始まったことを知る。 | 1) | 東北地方の太平洋沿岸の過去の津波被害を理解する。 | ○ | 教・行 |
| 2) | 東北地方の沿岸では，地震と津波はいつも同時に起こるものとして考える。 | → | 教・行 |
| 6) | 津波警報のシステムは予報システムの改良等に伴い，現在では地震発生後３分以内を目標に出されるようになっている。 | ○　 | 教・行 |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例